



## 未知の将来を切り拓く力

校長 金子 敏治



会場中に美しい歌声が響き渡った3年学年合唱

2学期は、職場体験、修学旅行、合唱コンクールなど多くの行事があります。また、地域では、総合防災訓練、小学校へのボランティア活動、夏の社会福祉協議会主催の体験ボランティアなど様々な活動に各30名以上の生徒が参加しました。これらの活動は、生徒一人ひとりが新たなことに挑戦し、自分の力を発揮できるとともに、学校での学びを地域の方々との交流の中で生かし深める貴重な機会です。地域の方々から「ありがとう。助かりました。」などの感謝の言葉を直接かけていただくことは、生徒にとって、「人の役に立ち、感謝されている」ことを実感するかけがえのない瞬間です。このことが自信や自己肯定感を育み、未知の課題や困難なことにも、自ら主体的に取り組むエネルギーとなります。

『東京都教育施策大綱』には、「未来の東京に生きる子供の姿」として次の2点が示されています。「①自らの個性や能力を伸ばし、様々な困難を乗り越え、人生を切り拓いていくことができる。②他者への共感や思いやりを持つとともに、自己を確立し、多様な人々が共に生きる社会の実現に寄与する。」今の中学生が将来、社会のそれぞれの場で活躍する時代に、必要なこれらの力を育む土台が、中学校での学びや体験になります。生徒一人ひとりが自分の個性や能力を伸ばしながら、他者を理解し、協力し合いながら、より良い集団、社会を形成していく力を、これからも全教育活動を通じて育んでいきます。

### <中央図書館の放課後直接利用について>

totoruにて9月26日付で配信しました通り、10月から一中生が放課後に直接、中央図書館を利用し、学習や読書をすることが可能となりました。図書館も昨年リニューアルされ、充実した素晴らしい施設ですので、ぜひ、積極的に活用していきましょう。